



第39回 全国育樹祭

手から手へ 豊かな緑で ぼくらの未来

魚つき保安林の指定をPRしました。

岐阜県は平成26年7月19日（土）に、恵那市上矢作町地内の森林を「魚つき保安林」に指定し、この日、同市串原地内で開催された「奥矢作森林フェスティバル」において保安林や森の恵みに関する啓発活動を行いました。



《魚つき保安林指定場所》

恵那市上矢作町上村川の通称「不動の滝」周辺の森林（6.88ヘクタール）を指定しました。県内では5番目の指定となり、面積は県内全体で約107ヘクタールとなります。

指定とともに、国道418号線沿いに保安林看板を設置しました。

（指定位置）



（現地に設置した看板）





第39回 全国育樹祭

手から手へ 豊かな緑で ぼくらの未来

《魚つき保安林とは》

魚が生息しやすい環境をつくるため、指定地内の樹木の伐採を制限することにより、水生昆虫類の餌となる落ち葉などの供給や、樹木や下草が地表を覆うことによる水質汚濁の防止、更には水面へ木陰をつくり水温の上昇を抑制するなどの効果を期待するものです。

(指定地周辺：達原溪谷・上村川)

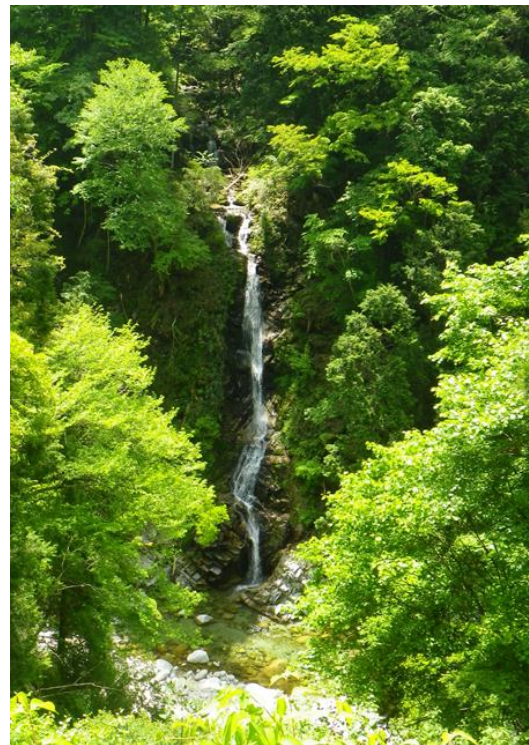


(指定地周辺：不動の滝)

指定地内にはスギ、ヒノキ、ケヤキ、オニグルミなどの樹木が生育し、指定によりアユやアマゴなどの魚類が生息する清流が保全されるものと期待しています。

(達原溪谷)

上矢作町から長野県平谷村に抜ける国道418号線の達原溪谷は、上村川上流にあり、落差40メートルの不動の滝もあり、秋が深まりますと兩岸の木々が赤や黄に染まり、色鮮やかな溪谷美が楽しめます。





第39回 全国育樹祭

手から手へ 豊かな緑で ぼくらの未来

《奥矢作森林フェスティバルでのPR》

日時：平成26年7月19日（土）

場所：恵那市串原地内、奥矢作レクリエーションセンター内

フェスティバル参加者：約680人

啓発内容：

- ・魚つき保安林、保安林の必要性、全国育樹祭のパネル設置とクイズ
- ・間伐材を利用したコースターづくり体験など
(合計約120人の方に啓発できました。)
- ・今回は、平成27年秋に岐阜県揖斐川町谷汲地内において開催される「第39回全国育樹祭」の応援行事として位置付けて、その啓発も行いました。

(保安林PRの様子)



(全国育樹祭のPR)



(コースターづくり体験などの様子)



当日の午前中は降雨もありましたが、「魚つき保安林」という聞きなれない言葉に興味を持っていただき、併せて保安林の大切さを参加者に伝えることができました。

また、間伐材を利用したコースターづくり体験では、子供から大人まで真剣な表情で取り組み、それぞれ良い思い出になったと思います。